

協力

55

伝道団体連絡協議会

〒101-0062

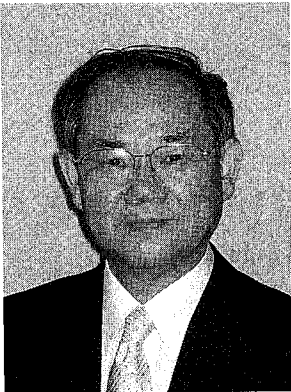
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室

Tel. 03-3291-5035

www.gospeljapan.com/dd/

FRONT ESSAY

出て行って



伝道団体連絡協議会 会長
姫井雅夫

全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。

この言葉はマルコ16:15に出てくる有名な聖句です。この聖句で献身を決意し、今、牧師、伝道者、宣教師、そして伝道団体の働き人になっている人は多くいるのではないのでしょうか。

「出て行く」ということはかなりの勇気と自信がないと難しいようです。日本人は昔から「隠れキリシタン」の国ですから、自らをクリスチャンと公言することを好まない気質があるように思います。でも主は、遺言としてこの言葉を残されました。「頼んだよ」という主の思いが伝わってくるような気がいたします。

でも現実には外向きの教会、クリスチャンは少なく、大半は内向きではないのでしょうか。保守的、消極的、静止的です。このままでは、主の遺言に背き、主のご期待に応えられないでいることになってしまいます。

伝道団体は、教会とは少し体質が違うのではないのでしょうか。攻撃的、積極的、動的に活動をしているように見受けられます。伝道団体が活発に、与えられている使命のために活動を展開していく時、教会に刺激を与え、教会と共に福音宣教に当たる事が出来ると思うのです。

教会はキリストを母体としてはいますが、会員が構成分子です。ですから牧師は会員の牧会に明け暮れることになります。伝道団体は同じくキリストを母体としていますが、使命遂行体です。従業員の牧会より、与えられている使命を遂行することに全力を傾けます。その意味で教会よりは能動的と言っても良いでしょう。その特質を十分に生かして教会と手を取り合っていきたいものです。

「出て行く」のは「福音を宣べ伝える」使命のためです。あちこち出て行って、教会を混乱に巻き込んではいけません。聖書的、福音的でない教えを伝えてはいけません。伝道団体は強力な伝達手段をもっているだけに注意が必要です。

「出て行く」のは「造られたすべての者」を対象としているからです。日本人を宣教の対象に絞ったとしても、日本人も世界中に散っています。

各種の伝道団体が使命を共通にして集まっている伝道団体連絡協議会です。祈り合ひましょう。助け合ひましょう。手を取り合ひましょう。そして力強く、共に「出て行こう」ではありませんか。福音を待っている人々がたくさんいることを心に留め、立ち上がりましょう。

伝道団体連絡協議会の 使命と相互協力

伝道団体連絡協議会 副会長
浅見 颯蔵

そのためには、主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。
愚かにならないで、主のみこころは何であるかを、よく悟りなさい。
——エペソ 5:10,17——

神は私たちに何をさせようとしているのでしょうか。

伝団協の使命の再確認と今後の思索とを、お互いに現在の状態を把握する時ではないかと思いますが、いかがでしょうか。相互の交わり、各団体として、お互いに内容をどこまで知らせることができるでしょうか。おのおのの事情があり、なかなか公にはできないこともあるでしょうが、その中でも共通の祈りの課題があると思います。できる限りお互いを知り、「主に喜ばれること、主のみこころは何であるか」を十分に心に留めて同業者間の交流と、経済問題（経営）、どの程度まで話すことができるか、もう一歩進めて、人事の交流にまで進むことはできないか。

現状の悩み、教会対策、地域的な問題、資金繰り、人事など、多々あります。現社会を見ても現況の中でどのような方法をとっていくか、お互いの共通の課題のために「とりなしの祈り」が必要であり、この祈りを強めていきたいと思います。

「目的の一致の中における相互の協力体制」。聞くと、一瞬易しい言葉だと思えますが、とても難しいことです。

この伝道団体連絡協議会でなければできないわざは何でしょうか。

伝団協から諸事情あり離れていったいくつかの団体がありますが、もう少しお互いに親しい交流があり、内容を確認合っていれば、とどまることができたのではないかと思います。

団体の中には社内の合理化統合体制を取り、無駄を省き可能な限り一本化し、効率を上げる企業努力をしている団体もあります。

この伝団協の特徴は何でしょうか。他にはない誇るべき専門の働きができる各分野で活躍できる団体だということです。出版関係、書籍頒布販売関係、放送・ラジオ・メディア関係、学生・社会人伝道関係、音楽関係、国内外伝道関係、神学校関係等、多くの専門分野の働きを持っている強力な団体だということです。他に誇れる、この団体がどのように生かされ、用いられ、伝道のわざが発揮され相互の協力を強め密にしていくかは、お互いの「祈りの輪」にあるのみです。

現在のキリスト教界の動向をどの程度知り、把握しているでしょうか。具体的な問題だと思えますが、これを基として、高齢化の諸問題を含めての聴聞会等が開けたら、今後の歩みに大いに参考になり、役立つのではないかと思います。

祈りの輪を！

NEWS FLASH
加盟団体の近況・祈りの課題



いのちのこぼ社

「聖書かみしばいセット」が子ども伝道・子どもの信仰の養いのため、「新改訳 聖書 第三版/注解・索引・チェーン式印刷付」が聖書研究・信仰成長のために用いられますように。「クリスマスグッズ」「ビデオ/クオ・ヴァディス」が伝道のために用いられますように。クリスマス期、全国のキリスト教書店が豊かに祝され、繁忙期なのでとくに健康が守られますように。

教会インフォメーションサービス

今年の年次集計の準備のまっさいちゅうです。新しい理事会発足の準備中です。若返った新しいCISがスタートします。神の国の秩序の回復を発信していきたい。

国際ナビゲーター

「キリストを知り、キリストを知らしめる」ことをモットーに、小グループによる学び会、関係を通しての福音伝達を、家族や職場、大学や近隣の方々に対して推進しています。

こころの友伝道全国連合会

(第53回)「こころの友伝道」ソウル国際大会。とき・2006年8月28(月)～30(水)、所・ソウル教育文化会館、主題・「歴史の主による和解の福音」参加歓迎 申込 Tel・Fax 03-3200-5584

J T J 宣教神学校

ハレルヤ!! 今年度の入学者数は、例年の如く120名位になりますが、来年度は150名の入学者を目指しております。是非ご協力お願い申し上げます。

総動員伝道

千葉県西地域の牧師会(いのちの泉会)で毎月、楽しく伝道に関して懇談しています。来年5月に予定されている首都圏キリスト教大会の準備にあっています。

太平洋放送協会

クリスマス番組制作に取り組んでいます。また来年度の計画と予算立案の作業に入りました。ますます俗悪化し、心が病む日本の救霊のため、メディアで全力を尽くして伝道します。

小さいのちを守る会

先日、中央警察署で妊娠5ヶ月の四人妊婦に中絶防止の説得。警察病院で中絶賛成の担当警部や中絶担当予定医に中絶は殺人であると激論。修羅場の戦いの上に熱い祈りを!

●上記以外の加盟団体

いのちの水計画
お茶の水クリスチャン・センター
キリスト者学生会
近畿放送伝道協力会
クリスチャン文書伝道団
高校生聖書伝道協会(Hi-b.a.)
新生宣教団
全日本リバイバル・ミッション
日本キリスト宣教会
日本国際飢餓対策機構

日本ミッション
ハーベスト・タイム・ミニストリー
ブリッジス・フォー・ピース
ビー・ジャパン
マザーズ・カウンセリング・センター
ミクナム・レコード
ライフ・ミニストリーズ
ワールド・ビジョン・ジャパン
<以上、33団体(五十音順)>

日本キャンパス・クルセード・フォー・クライスト

三鷹CCC学生センターの建築献金目標額達成! 8月から建築開始。完成はH18年3月の予定。これに伴い、宗教学法人化の準備も始まっています。

日本キリスト伝道会

今年度の集中伝道県である徳島・高知県のキャラバン伝道、第37回日本伝道の幻を語る会、東京地域委員会主催のチャペルコンサートが、祝福の内に終える事が出来た。感謝。

日本聖書協会

ろう者のため、ろう福音協会の手話訳聖書ビデオ・DVD製作支援を行っています。現在9書8巻まで完成しています。今後15年をかけ翻訳作業が進められます。お覚え下さい。

日本伝道者協力会

日本伝道者協力会の総会およびリトリートが、去る8月29日～31日にかけて、嵐山の国立女性教育センターで開かれました。参加者は決して多くありませんでしたが、御霊の御臨在を感じる素晴らしい集会となりました。福音宣教について意見の交換が為され、説教演習も実践さながらに行われました。

パラビジョン

本年10月で創立23周年となります。また、創立者・柳沢清兄召天から3年となります。創業の信仰と使命を深く思いつつ、クリスチャンビジネスの良い証しとなるよう励みます。

光のミッション

使用済みカセットテープを、マニラの Resources for the Blind, Inc. と、マドリードの Nueva Luz とに送って、フィリピンとスペイン、ラテンアメリカ諸国の盲人伝道のために用いられています。

福音主義医療関係者協議会

今年11月で創立以来36年目を迎えます。35周年記念事業として、札幌でシンポジウム(9月17日)を開催しました。また、31～35巻のEMFジャーナル17冊を合本として3千円で販売しています。

●伝道団体連絡協議会とは

キリスト教会には大きく分けて2つの分野があります。キリストの十字架の血によって罪赦された人々の集まりとしての「教会」と、クリスチャンになった者たちがそれぞれの使命をもって専門的な分野で伝道活動、福祉活動などを行っている「伝道団体」です。この2つはともに協力し合って神の福音を伝え、神の国の拡大に努めています。教会と伝道団体はともに助け合う必要があります。伝道団体がパラパラに活動していたのでは教会にとって協力しにくいし、伝道団体相互にとっても力を欠くこととなります。そこで連絡のため一つになろうと「伝道団体連絡協議会」が生まれました。現在33の団体が加盟しています。

2005年度 伝道団体連絡協議会 研修会について

例年ですと、「一泊研修会」は10月を予定していますが、諸事情のため遅れてしまい、申し訳ありません。

今年度は2006年2月17日(金)～18日(土)の1泊2日としました。利便性と参加費(低価格)を考慮して企画したものです。

今回は、諸団体の現状におけるIT関係の諸問題、外部に対する宣伝方法等、具体的にはインターネット(ホームページ)等の利用(最大限の利用方法と活性化と効果)についての研修です。各団体が互いに、現在の宣伝方法の効果についての情報交換と意見交換をし、真剣な思いを持ちながら親しい交わりを深めて、学び、勧めていけると願っています。

日時 2006年2月17日(金)～18日(土)
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
費用 登録費:1000円 宿泊費:2300円
 食費(定食・予価) 夕食670円 朝食450円 昼食540円
講師 伝団協の加盟団体の中から選び、協力をお願いする予定です。

▼研修内容

1. インターネット(ホームページ)の活用のしかた(有効性と危険性)
2. 伝団協のホームページをいかに活用するか
3. ホームページ作成の実際
4. その他(親睦の時)

詳細は、後日お知らせします。
 多くの方の参加をお待ちしています!



開会礼拝	15:00
集会Ⅰ	16:00
夕食	17:00
集会Ⅱ	18:00
交わり	19:00
	20:00
	21:00
	22:00

2/17
(金)

日程
(試案)

	7:00
朝食	8:00
	9:00
集会Ⅲ (質疑応答)	10:00
閉会礼拝	11:00
昼食	12:00
	13:00

2/18
(土)

国立オリンピック記念青少年総合センター

首都圏に
リバイバルを!



青山学院



淀橋教会

首都圏キリスト教大会

2006年5月12日(金)～14日(日)

講師 クリストファー・サン師、内田みずえ師、岸 義紘師

5/12 …… 淀橋教会(東京都新宿区)

5/13,14… 青山学院講堂(東京都渋谷区)→<交渉中>

主催:首都圏キリスト教大会実行委員会

TEL/FAX 03-3291-5045

『協力』55号

発行日:2005年11月2日
 発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
 TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.gospeljapan.com/dd/ sodoin@ybb.ne.jp
 発行者:姫井雅夫 編集者:東裕之